

# 議会だより



No.179

発行：泉大津市議会／編集：議会だより編集委員会／連絡先：議会事務局

〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町9番12号

TEL 0725-33-1131 内線 2508 FAX 0725-33-3510

HPアドレス <http://izumiotsu.gsl-service.net/>



「おやこ広場 たんぼっぼ」 撮影場所 かみじょう認定こども園内

泉大津市では、地域の親子の遊びと交流スペース「おやこ広場」を開いています。親子で一緒に絵本の読み聞かせやわらべうたあそび、体操などを楽しみ、子どもたちはみんな元気いっぱいでした。

## 市議会の諸役員を改選！！

平成30年5月10日から15日まで第1回臨時会を開催し、議長、副議長および議会選出監査委員をはじめ、常任委員会、特別委員会等の委員や議会諸役員を選出しました。

### 目次

- 議長、副議長あいさつ  
常任委員会委員名簿 2 P  
その他諸役員名簿 3 P
- 市議会で行われたこと 4 P

### 市議会の予定

●開催時間は、いずれも午前10時を予定しています。

開催日	会議名
6月20日(水)	市議会本会議(1日目)「一般質問、議案審議」
6月21日(木)	市議会本会議(2日目)「一般質問、議案審議」
6月22日(金)	市議会本会議(予備日)
6月29日(金)	市議会本会議(最終日)「議案審議」

★上記の日程は変更される場合があります。  
詳しくは議会事務局(0725-33-1131 内線2508)までお問い合わせください。



# 就任のごあいさつ

市民の皆様には、平素から  
泉大津市議会に対し温かいご  
支援とご協力を賜りまして、  
心より厚く御礼申し上げます。

私たちは、去る平成30年5  
月15日に開催されました平成  
30年第1回臨時会におきまし  
て、泉大津市議会第62代議長  
並びに第64代副議長に就任いた  
しました。もとより微力では  
ございますが、市政の発展と  
円滑な議会運営に全力を尽く  
してまいります。

さて、現代社会の移り変わ  
りには目を見張るものがあり、  
技術革新の早さに取り残され  
ないような努力が必要不可欠  
であります。

泉大津市議会では、ペーパー



議長 林 哲二

## 常任委員会の構成

◎は委員長  
○は副委員長  
( )内は所属党派

### 総務都市常任委員会 (8人)

財政の健全化と行政の効率化、市民参画・  
協働の推進、組織・事務・財産管理、商工業  
の活性化と労働環境の充実、消費生活の向上、  
住環境の整備、環境保全の推進、道路・交通  
の整備、上下水道の整備、防災・消防体制の  
充実などについて審査及び調査をします。



貫野幸治郎  
(おづ)



池辺 貢三  
(立志会)



○森下 巖  
(日本共産党)



◎高橋 登  
(市民トライネット)



村岡 均  
(公明党)



丸谷正八郎  
(市民クラブ)



清水 勝  
(おづ)



草刈与志子  
(維新蒼風会)

### 厚生文教常任委員会 (8人)

子ども・子育て支援の充実、福祉の充実と健康  
づくりの推進、保険・年金制度の充実、医療の充  
実、就学前・学校教育の充実、生涯学習の推進、  
文化の振興、文化財の保護などについて審査及び  
調査をします。



田立 恵子  
(日本共産党)



井阪 正信  
(維新蒼風会)



○大塚 英一  
(公明党)



◎中谷 昭  
(おづ)



溝口 浩  
(公明党)



堀口 陽一  
(立志会)



林 哲二  
(市民クラブ)



野田 悦子  
(市民トライネット)



副議長 池辺 貢三

レス化を進めるため、4月からタブレットを導入しました。各種資料をデータ化することにより、紙の削減だけでなく、スピーディーな情報収集が可能となるとともにスケジュール共有が図られるなどの利点があることから泉大津市議会全体で取り組んでいます。もちろん、すべてが新しいものを取り入れるというわけではなく、必要に応じて変えていくべきところを認識した上で、歴史・伝統等の大切さを十分理解し、子どもたちに伝えていかねばならないと考えています。

次世代に向けて、子どもたちに希望ある明るい未来を築けるよう、市民の皆様のご意見を集約しながら取り組んでまいります。

今後とも泉大津市議会に対し、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

**監査委員 貫野幸治郎**

(◎: 委員長 ○: 副委員長)

議会運営委員会	<p><b>委員構成</b></p> <p>◎丸谷正八郎      ○堀口 陽一      井阪 正信      高橋 登 田立 恵子      中谷 昭      村岡 均</p>
	<p><b>協議事項</b></p> <p>市議会の円滑な運営を図るため、議事の運営その他必要な事項を協議します。 (議会だより編集委員会兼務)</p>

特別委員会	臨海地域整備対策	<p><b>委員構成</b></p> <p>◎堀口 陽一      ○貫野幸治郎      大塚 英一      草刈与志子 清水 勝      野田 悦子      丸谷正八郎      森下 巖</p>
		<p><b>協議事項</b></p> <p>総合的な港湾空間の創造を図り、諸機能が調和し、高度な活動が営まれる臨海地域の整備について調査研究します。</p>

一部事務組合議会	大阪府都市競艇企業団	清水 勝
	泉北水道企業団	大塚 英一、草刈与志子 高橋 登、丸谷正八郎 森下 巖
	泉北環境整備施設組合	井阪 正信、中谷 昭 野田 悦子、堀口 陽一 溝口 浩
	泉大津市、和泉市墓地組合	井阪 正信、大塚 英一 野田 悦子、堀口 陽一 丸谷正八郎、村岡 均
	高石市泉大津市組合	中谷 昭

会派構成表	
	○: 会派代表者
日本共産党	○田立 恵子、森下 巖
市民トライネット	○高橋 登、野田 悦子
公明党	○溝口 浩、村岡 均 大塚 英一
おづ	○清水 勝、中谷 昭 貫野幸治郎
維新蒼風会	○井阪 正信、草刈与志子
市民クラブ	○丸谷正八郎、林 哲二
立志会	○堀口 陽一、池辺 貢三



議員提案による  
◎議員定数1名削減  
を可決

平成30年第1回定例会最終日3月23日に議員定数を1名削減する条例の一部改正案が議員7名より、議会の議員の議員報酬の特例に関する条例案が議員4名よりそれぞれ提案されました。

泉大津市議会議員定数条例の  
一部改正の件

提案理由

■本市の財政状況は、依然として厳しく硬化化した状況が続いており、市長、副市長、教育長においては給与を削減し早期の財政安定化に向けて努力している。市議会としても、議会費全体を見直し、費用の削減に取り組んでいるところであるが、今後進めていく老朽化が激しい施設の統廃合を含めた建て替え等、ますます財源確保が厳しく、更なる議会費の削減も必要となっている。また、近年の社会状況や人口減少化などの観点から総合的に判断し、議員定数1名削減を提案する。

反対討論

■議員定数の削減は、議会基本条例に掲げた3つの柱である市民への説明責任、市民の声を議会へ届ける役割、市民参加

を否定するものである。提案理由にある議会費の削減等の課題解決は、議員定数の削減ではなく、議員報酬の削減から始めるべきであり議会機能を充実させ市民の負託に応えることが議会の本来の役割と考えて、本削減案には反対する。

■一人一人の議員が一層の努力と研さんを重ね、市民の期待に応え、ともによりよい泉大津の将来をつくっていくべきである。そのために、議会は議会としての役割を一層発展させ、機能を発揮させていくべきであり、本削減案に反対する。

採決

■採決の結果、賛成多数で原案どおり可決しました。議員定数の推移については、左の表のとおりです。

議員定数の推移

昭和17年市制施行時	30名
昭和38年一般選挙時	26名
昭和62年一般選挙時	24名
平成3年一般選挙時	22名
平成11年一般選挙時	20名
平成15年一般選挙時	18名
平成27年一般選挙時（無投票）	17名
次回一般選挙時	
（平成31年4月予定）	16名

議会の議員の議員報酬の特例に関する  
条例制定の件

提案理由

■財政の健全化として、議会費の削減を議員定数削減で対応すべきとの意見があるが、本市の議会構成を考えたとき、今以上の議員定数削減は議会機能の低下を招くばかりか、市民の声を行政に反映するという議会議員の本旨を損なう。市長をはじめ特別職が給与の削減を継続している現状において、議員自らも報酬の削減を実施することが望ましいと考え、議員報酬の5%削減を提案する。

反対討論

■本議案について、事前に、例えば3%削減、あるいは10%削減にするのか等の協議があれば、賛同できたかもしれない。何の議論もなく、定数削減に對抗して提案された本議案については、事前の協議が十分にされていないため、反対とする。

■このタイミングでの定数削減との抱き合わせの提案は、本質すら違っているのではない。議会全体としての瑕疵があって報酬削減の議論となる。後ろ向きな議論はやめ、議会としての仕事で判断することが本筋であると考え、反対とする。

賛成討論

■定数削減のメリットを考えたときに、

タブレット端末による  
議会運営を始めました！！

泉大津市議会では、紙資料の削減、資料作成等に係る事務量の削減を図るため、タブレット端末を導入し、平成30年第1回臨時会から議案書の電子化等の運用を始めました。



採決

■採決の結果、賛成多数で否決しました。市民に何一ついいことがない。その中で対案として報酬の削減を提案したものである。定数削減については、少なくともこの1年間の中では何ら費用対効果もないが、報酬削減については、少なくとも今すぐ削減の効果を発揮できるという点から、賛成とする。